

五並中学校のESD活動

<活動の概要>

当校は、「表浜プロジェクト」と「キャリア教育」を活動テーマとして、ESDを地域とのつながりを通して体験的に学ぶことと捉え、その中からよりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質や能力の育成を目標とした。SDGsを柱に、①環境にかかわる活動、②地域の職業にかかわる活動、③地球規模の課題の解決にかかわる活動を行った。

・活動の実際

① 生命や環境にかかわる活動（1年生）

1年生は、五並校区の特徴の一つである豊かな自然と農業を題材に学習している。

地域の農家のもとで三日間農業体験を行ったことで、生徒たちは農業の大変さや農家の苦勞に気づいた。さらに、五並校区でも農家の高齢化や後継者不足が進んでいることから、生徒たちは、「このままでは五並校区の農業は続いていかないのではないか。」という問題意識を得た。

そして、農業を救うためにできることは何かを自分が関心のある仕事の観点から考えるようになっていった。



① 農業体験の様子

② 地域の職業にかかわる活動（2年生）

2年生は、働くことをテーマに、自らのキャリアを考える学習を行っている。生徒たちは働くことのイメージを膨らませていく中で、実際に働いている人たちの話を聞いたり、体験をしたりすることが必要だと考えた。

職場体験では、各事業所での三日間の体験をするなかで、仕事の大変さや喜び、今の自分がやるべきことを考えるようになっていった。

そして、職場体験を終えて、描いた将来のイメージをもとに、進路に関する調べ学習を行った。



②調理場での職場体験

③ 地球規模の課題の解決にかかわる活動（3年生）

3年生では、SDGsの理念を基に、地球規模の課題をどう解決していくかを考えた。寄付が現地の産業を圧迫することもあるという現状を知った生徒は、「相手の状況を知る必要がある。そのためには情報収集して、何が正しいのかを判断しないといけない。」とメディアリテラシーの重要性に気づいた。

そこで、個々で設定したテーマに応じて、新聞切り抜き作品を制作し、他学年に向けた発信活動を行った。



③新聞切り抜き作品づくり